

N8103-78 ディスクアレイコントローラ(SATA)

セットアップカード

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

このセットアップカードでは、N8103-78 ディスクアレイコントローラ(SATA)に関連する下記ソフトウェアのインストール手順について説明します。

- ドライバ
- Promise Array Management
- 電源制御抑止ドライバ
- ESMPRO/ServerAgent

本書の適用範囲は下記の通りです。

Express5800シリーズに添付されているEXPRESSBUILDERのバージョン	適用範囲
Version 3.103 -N(注1) 以前の場合	本セットアップカードの適用範囲です。本書を参照し関連ソフトウェアのインストールを実施してください。
Version 3.104 -N以降、Version 3.115 -N以前の場合	基本処理装置に添付されている「ユーザーズガイド」を参照し、関連ソフトウェアのインストールを実施したあと、本セットアップカードを参照し関連ソフトウェアのアップデートを実施してください。
Version 3.116 -N以降の場合	基本処理装置に添付されている「ユーザーズガイド」を参照し、関連ソフトウェアのインストールを実施願います。 ただし、第1章の「注意事項」については必ず確認してください。

注1) :任意のアルファベットが入ります

本セットアップカードによるインストール作業を始める前に、必ずEXPRESSBUILDER CD-ROM媒体に明記されたバージョンを確認してください。

本セットアップカードで説明するソフトウェアは、以下の製品に対応しています。

なお、とくに記述のない限り、次の省略形式を使用します。

省略形式	製品名
Windows 2000	Microsoft [®] Windows [®] 2000 Server Microsoft [®] Windows [®] 2000 Advanced Server
Windows 2003	Microsoft [®] Windows [®] Server 2003 Standard Edition Microsoft [®] Windows [®] Server 2003 Enterprise Edition

FastTrak[™]、Promise[®]は、米国 Promise Technology, Inc.の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ESMPRO[®]は、日本電気株式会社の登録商標です。

EXPRESSBUILDER は、日本電気株式会社の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat は、Adobe System Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

目次

第1章	注意事項	3
第2章	インストール手順	4
2.1	シームレスセットアップ.....	5
2.2	マニュアルセットアップ.....	6
第3章	Windows 2000 / Windows 2003 ドライバのインストール	9
3.1	Windows 2000でのドライバのインストール	9
3.1.1	シームレスセットアップ.....	9
3.1.2	マニュアルセットアップ.....	10
3.2	Windows 2003でのドライバのインストール	12
3.2.1	シームレスセットアップ.....	12
3.2.2	マニュアルセットアップ.....	13
第4章	Promise Array Managementのインストール	15
第5章	ESMPRO/ServerAgentのインストールと設定変更	16
5.1	ESMPRO/ServerAgentの設定変更.....	17

第1章 注意事項

N8103-78 ディスクアレイコントローラを使用する上での注意事項です。インストール作業を行う前に必ずよくお読みください。

・休止状態およびスタンバイ状態について

N8103-78 ディスクアレイコントローラでは、システムの休止状態やスタンバイ状態への移行をサポートしていません。本ディスクアレイコントローラを使用する場合、休止状態やスタンバイ状態への移行を抑止する「電源制御抑止ドライバ」をインストールしてください。インストール方法については、添付の CD-ROM 「N8103-78/78F Disk array controller (SATA) Management software」内の「Promise Array Management ユーザーズマニュアル」(ファイル名: ¥PAM_DOC¥JP¥PAM_UG.PDF)を参照してください。

・ESMPRO/ServerAgentでの監視について

ESMPRO/ServerAgentの、データビューアではN8103-78の状態を確認できません。
N8103-78の状態を確認する場合、「Promise Array Management」をご利用ください。

・シンクロナイズについて

N8103-78ディスクアレイコントローラ(SATA)をご使用の場合、定期的にシンクロナイズを実施してください。このシンクロナイズを行うことで、アレイの整合性を定期的にチェックするとともにHDDの後発不良の早期発見を可能にします。なお、定期的なシンクロナイズの実施方法については「**Promise Array Managementユーザーズマニュアル**」の「**シンクロナイズのスケジューリング**」を参照してください。

(週に1度の実施を推奨しますが、システムの稼働状態によってすくなくとも月に1度は実施されることをお勧めします)

第2章 インストール手順

本章では、N8103-78 のドライバ、Promise Array Management、電源制御抑止ドライバ、ESMPRO/ServerAgent のインストールの流れについて説明します。

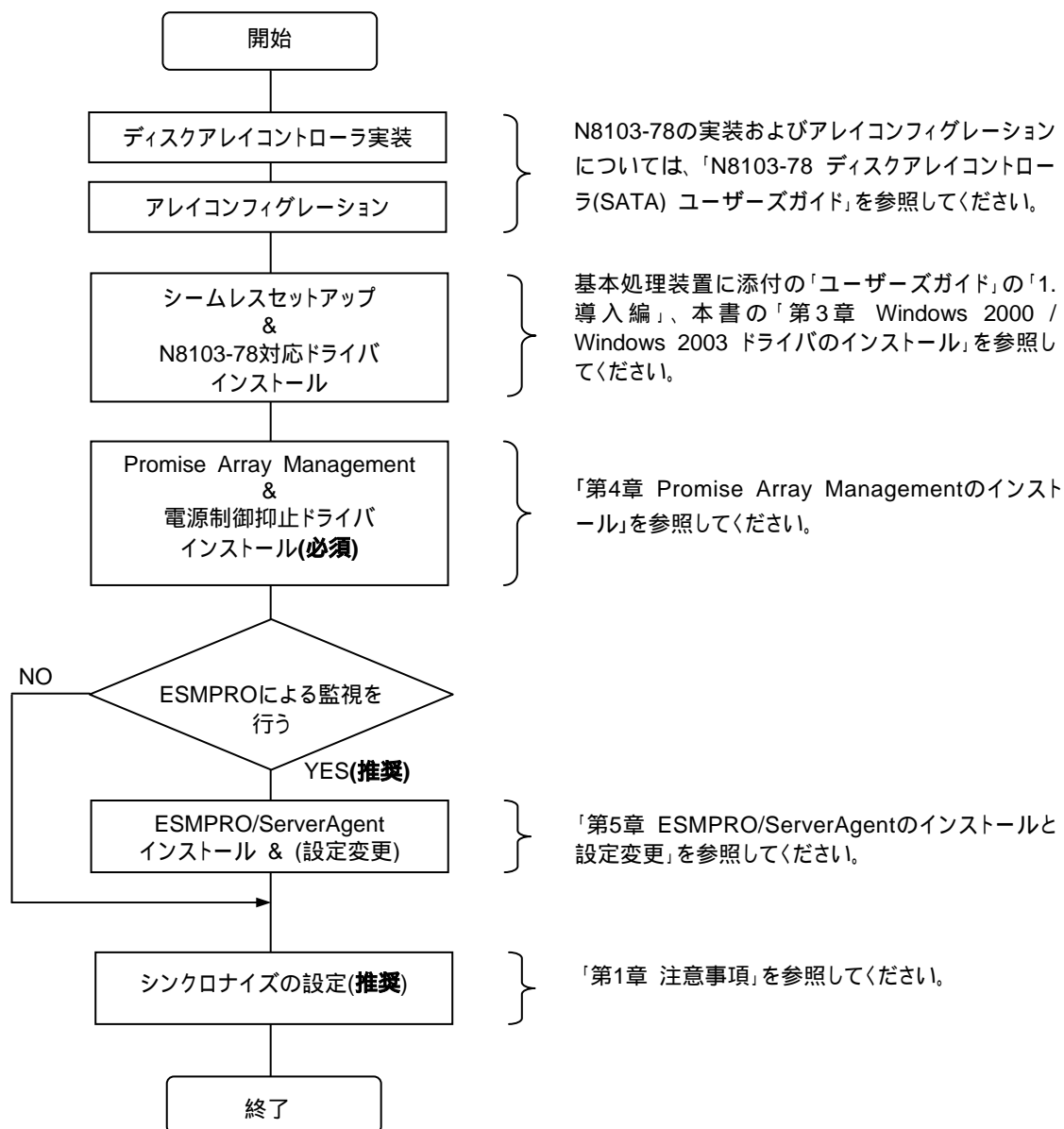
インストール作業を行う前に“第 1 章 注意事項”を必ずよくお読みください。
インストール作業の流れは、下記のように分かります。

Express サーバの状態	参照する項目
「ビルド・トゥ・オーダー」にて購入した場合 すでにOSがインストールされている場合	2.3 ドライバのアップデート
ディスクレスモデルを購入した場合 OSを再インストール(再セットアップ) する場合	2.1 シームレスセットアップ または 2.2 マニュアルセットアップ

2.1 シームレスセットアップ

シームレスセットアップの場合、N8103-78 ディスクアレイコントローラを使用するには、次のインストール作業を行う必要があります。

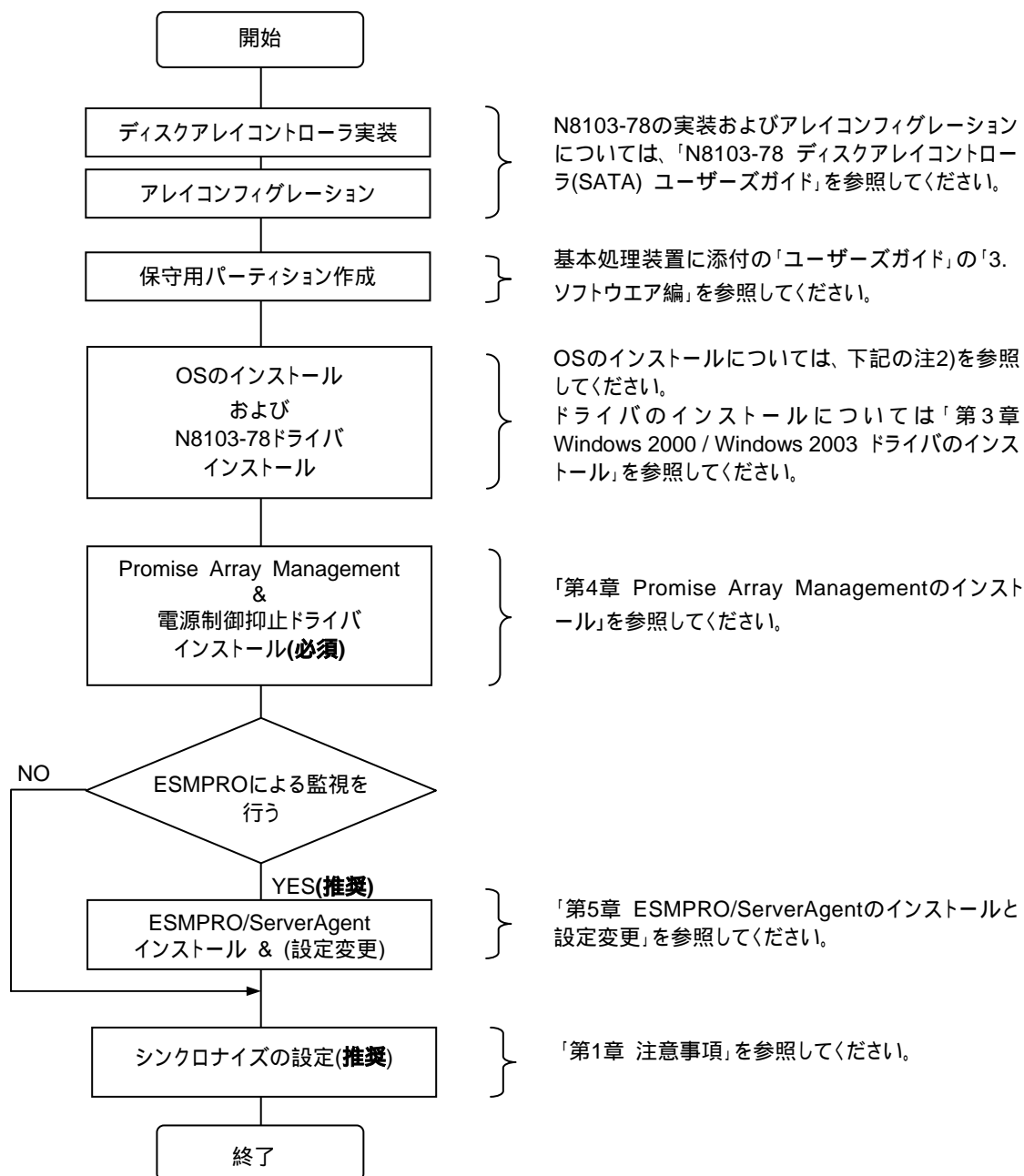
下記手順に従い、各ソフトウェアのインストール、アップデートを行ってください。



2.2 マニュアルセットアップ

マニュアルセットアップの場合、N8103-78 ディスクアレイコントローラをご使用になるには、次のインストール作業を行う必要があります。

下記手順に従い、各ソフトウェアのインストール、アップデートを行ってください。





注1) 保守用パーティションの作成については、基本処理装置に添付の「ユーザズガイド」で「3. ソフトウェア編」 「EXPRESSBUILDER トップメニュー」 「ツールメニュー」に記述されている「保守用パーティションの設定」の説明を参照してください。



注2) OS のインストールについては、下記のマニュアルを参照してください。

Windows 2000 をインストールする場合

「Windows 2000 インストールサブリメントガイド」

Windows 2003 をインストールする場合

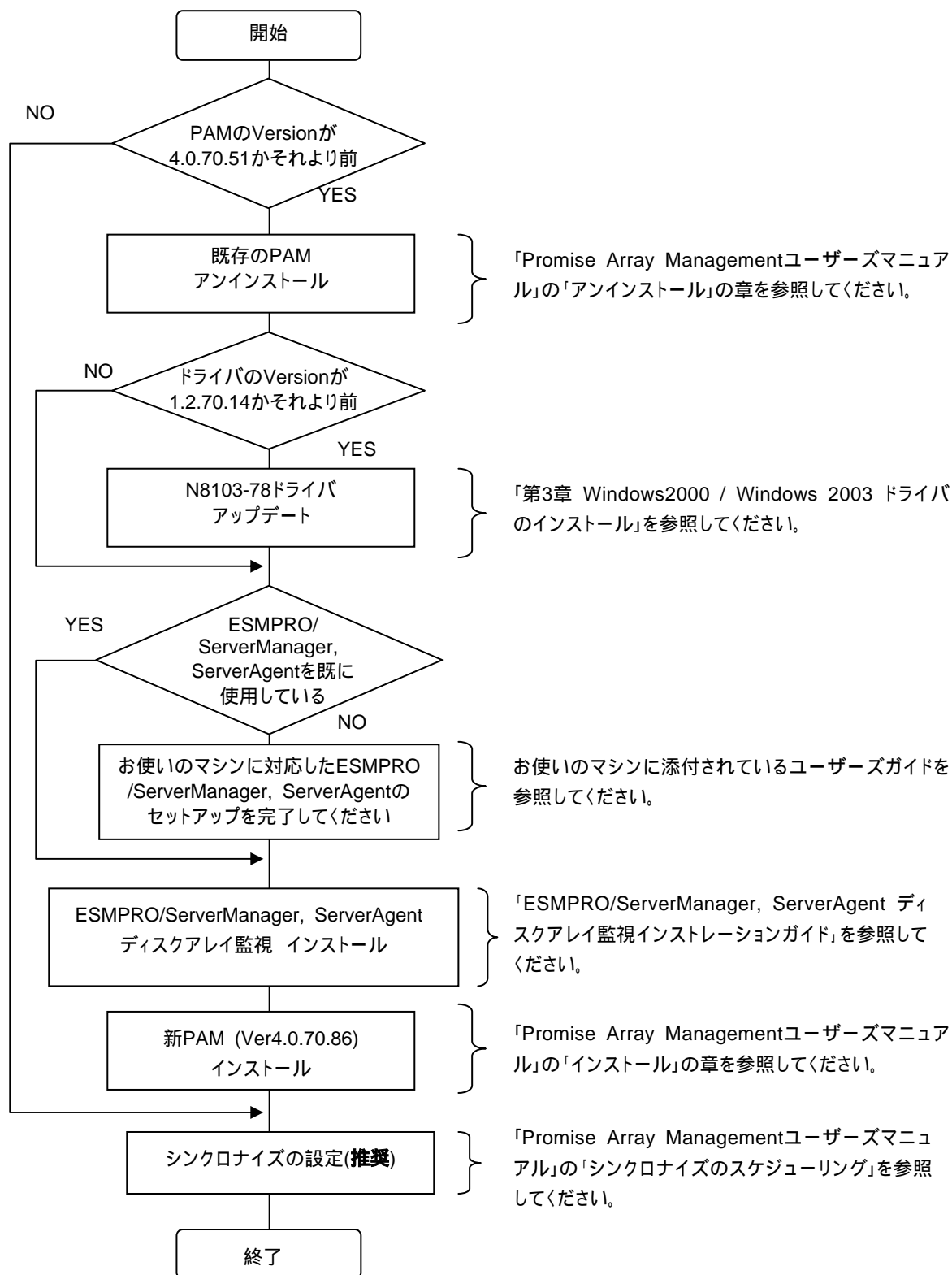
「Windows 2003 インストールサブリメントガイド」

「インストールサブリメントガイド」は、EXPRESSBUILDER にて PDF 形式にて提供しています。

2.3 ソフトウェアのアップデート

ビルド・トゥ・オーダーにて購入された場合や、すでに OS がインストールされている場合は、次のアップデート作業を行う必要があります。

下記手順に従い、各ソフトウェアのインストール、アップデートを行ってください。



第3章 Windows 2000 / Windows 2003 ドライバのインストール

本章では、Windows 2000、Windows 2003 に N8103-78 ディスクアレイコントローラ用のドライバをインストールする手順について説明します。

3.1 Windows 2000 でのドライバのインストール

このセクションでは Windows 2000 において N8103-78 ディスクアレイコントローラ(以下 N8103-78 と記述)を使用するための「ドライバのインストール方法」について説明します。ドライバのインストールには、以下の媒体が必要ですので準備してください。

N8103-78/78F Disk array controller (SATA) Windows Driver

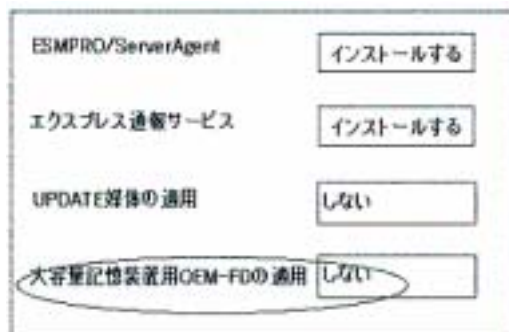
3.1.1 シームレスセットアップ

基本処理装置に添付されている EXPRESSBUILDER を使用して、シームレスセットアップを行うことができます。次の手順にしたがってください。

なお、**Version 3.116 -N** 以降をご使用の場合、基本処理装置に添付されている「ユーザーズガイド」の指示に従い、インストールを実施してください。また、**Version 3.104 -N** 以降、**Version 3.115 -N** 以前をご使用の場合、基本処理装置に添付されている「ユーザーズガイド」の指示に従い、インストールを実施したあと、本書 3.1.3 ドライバのアップデートを参照してドライバをアップデートしてください。

注) :任意のアルファベットが入ります。

1. エクスプローラ等を使用して、3.1 項記載のフロッピーディスク内のファイルを、基本処理装置に添付されている「セットアップパラメータFD」へすべてコピーする。
2. 基本処理装置の「ユーザーズガイド」に従い、手順 1 で作成したフロッピーディスクを使用して、「シームレスセットアップ」を実行する。
3. セットアップ情報の入力/確認の際に「アプリケーション」の「**大容量記憶装置 OEM-FD の適用**」を選択し、「**大容量記憶装置 OEM-FD の適用**」を「しない」から「**する**」に設定変更する。



4. “「大容量記憶装置用 OEM-FD」をフロッピーディスクドライブに挿入してください。”というダイアログボックスが表示されたら、フロッピーディスクを交換せずにそのまま「OK」を選択する。
5. “ファイルのコピーを完了しました。別の OEM-FD 媒体をコピーしますか ” というダイアログボックスが表示されたら、「終了」を選択して OEM-FD の適用を終了させる。

以後は本体装置添付の「ユーザーズガイド」の指示に従ってください。

3.1.2 マニュアルセットアップ

「Windows 2000 インストールサブリメントガイド」のマニュアルセットアップに記載されている「大容量記憶装置のセットアップ」に、以下の作業手順を追加して実施してください。

1. システムの電源を入れます。
2. サーバの CD-ROM ドライブに Windows 2000 CD-ROM をセットしてください。
Windows 2000 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセット後、リセット(<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押す)、もしくは電源を OFF/ON してサーバを再起動してください。ハードディスク上に起動可能な OS がインストール済みの場合、画面上部に「Press any key to boot from CD...」が表示されている間に<Enter>キーを押してください。起動可能な OS が存在しない場合は不要です。

CD-ROMからシステムが立ち上がり、Windows 2000のセットアップ画面が表示されます。
画面が表示されなかった場合は、<Enter>キーが正しく押されていません。もう一度システムの電源をONし直してから始めてください。

3. 画面上部に、「Setup is inspecting your computer's hardware configuration...」が表示されている間に<F6>キーを押してください。
4. 以下のメッセージが表示されたら<S>キーを押してください。

Setup could not determine the type of one or more mass storage devices installed in your system,or you have chosen to

5. 以下のメッセージが表示されます。

Please insert the disk labeled
manufacturer- supplied hardware support disk
into Drive A:
* Press ENTER when ready.

6. 「N8103-78/78F Disk array controller (SATA) Windows Driver」を、フロッピーディスクドライブにセットし、<Enter>キーを押してください。SCSI アダプタのリストが表示されます。
7. [Windows Promise FastTrak S150 SX4 (tm) Controller]を選び、<Enter>キーを押してください。

以降は、メッセージに従ってインストール作業を続けてください。

3.1.3 ドライバのアップデート

ビルド・トゥ・オーダーにて購入された場合や、すでに OS がインストールされている場合は、次のアップデート作業を行う必要があります。

なお、**Version 3.116 -N** 以降をご使用の場合は本作業は必要ありません。

注) :任意のアルファベットが入ります。

1. システムを起動し、管理者権限のあるユーザ(Administrator など)でログオンします。
2. **N8103-78/78F Disk array controller (SATA) Windows Driver** をフロッピーディスクドライブにセットします。
3. スタートメニューの「ファイル名を指定して実行(R)」をクリックします。
4. 名前の欄に“A:¥update¥update.vbs ” と入力し、OK ボタンをクリックします。
注) A はフロッピーディスクドライブのドライブ文字になります。
5. 「N8103-78/78F Windows Driver is updated.」と表示されますので、「はい」をクリックしてください。
6. ドライバのアップデートが実行されます。「Update is finished. Restart this system.」と表示されましたらシステムを再起動してください。

以上でドライバのアップデートは完了です。

3.2 Windows 2003 でのドライバのインストール

このセクションでは Windows 2003 において N8103-78 ディスクアレイコントローラ(以下 N8103-78 と記述)を使用するための「ドライバのインストール方法」について説明します。ドライバのインストールには、以下の媒体が必要ですので準備してください。

N8103-78/78F Disk array controller (SATA) Windows Driver

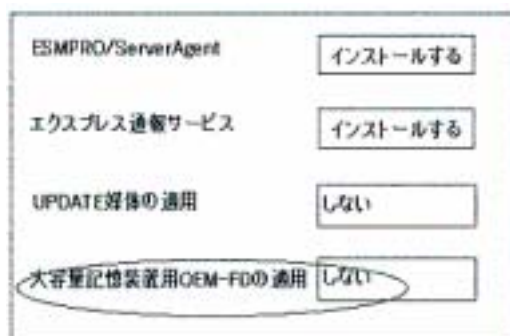
3.2.1 シームレスセットアップ

基本処理装置に添付されている EXPRESSBUILDER を使用して、シームレスセットアップを行うことができます。次の手順にしたがってください。

なお、**Version 3.116 -N** 以降をご使用の場合、基本処理装置に添付されている「ユーザーズガイド」の指示に従い、インストールを実施してください。また、**Version 3.104 -N** 以降、**Version 3.115 -N** 以前をご使用の場合、基本処理装置に添付されている「ユーザーズガイド」の指示に従い、インストールを実施したあと、本書 3.2.3 ドライバのアップデートを参照してドライバをアップデートしてください。

注) :任意のアルファベットが入ります。

1. エクスプローラ等を使用して、3.2 項記載のフロッピーディスク内のファイルを、基本処理装置に添付されている「セットアップパラメータFD」へすべてコピーする。
2. 基本処理装置の「ユーザーズガイド」に従い、手順 1 で作成したフロッピーディスクを使用して、「シームレスセットアップ」を実行する。
3. セットアップ情報の入力/確認の際に「アプリケーション」の「**大容量記憶装置 OEM-FD の適用**」を選択し、「**大容量記憶装置 OEM-FD の適用**」を「しない」から「**する**」に設定変更する。



4. “「大容量記憶装置用 OEM-FD」をフロッピーディスクドライブに挿入してください。”というダイアログボックスが表示されたら、フロッピーディスクを交換せずにそのまま「OK」を選択する。
5. “ファイルのコピーを完了しました。別の OEM-FD 媒体をコピーしますか” というダイアログボックスが表示されたら、「終了」を選択して OEM-FD の適用を終了させる。

以後は本体装置添付の「ユーザーズガイド」の指示に従ってください。

3.2.2 マニュアルセットアップ

「Windows 2003 インストールサブリメントガイド」のマニュアルセットアップに記載されている「大容量記憶装置のセットアップ」に、以下の作業手順を追加して実施してください。

1. システムの電源を入れます。
2. サーバの CD-ROM ドライブに Windows 2003 CD-ROM をセットしてください。
Windows 2003 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセット後、リセット(<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押す)、もしくは電源を OFF/ON してサーバを再起動してください。ハードディスク上に起動可能な OS がインストール済みの場合、画面上部に「Press any key to boot from CD...」が表示されている間に<Enter>キーを押してください。起動可能な OS が存在しない場合は不要です。

CD-ROMからシステムが立ち上がり、Windows 2003のセットアップ画面が表示されます。
画面が表示されなかった場合は、<Enter>キーが正しく押されていません。もう一度システムの電源をONし直してから始めてください。

3. 画面上部に、「Setup is inspecting your computer's hardware configuration...」が表示されている間に<F6>キーを押してください。
4. 以下のメッセージが表示されたら<S>キーを押してください。

Setup could not determine the type of one or more mass storage devices installed in your system, or you have chosen to manually specify an adapter. Currently, Setup will load support for the following mass storage device

5. 以下のメッセージが表示されます。

Please insert the disk labeled
manufacturer- supplied hardware support disk
into Drive A:
* Press ENTER when ready.

6. 「N8103-78/78F Disk array controller (SATA) Windows Driver」を、フロッピーディスクドライブにセットし、<Enter>キーを押してください。SCSI アダプタのリストが表示されます。
7. [Windows Promise FastTrak S150 SX4 (tm) Controller]を選び、<Enter>キーを押してください。

以降は、メッセージに従ってインストール作業を続けてください。

3.2.3 ドライバのアップデート

ビルド・トゥ・オーダーにて購入された場合や、すでに OS がインストールされている場合は、次のアップデート作業を行う必要があります。

なお、**Version 3.116 -N** 以降をご使用の場合は本作業は必要ありません。

注) :任意のアルファベットが入ります。

1. システムを起動し、管理者権限のあるユーザ(Administrator など)でログオンします。
2. **N8103-78/78F Disk array controller (SATA) Windows Driver** をフロッピーディスクドライブにセットします。
3. スタートメニューの「ファイル名を指定して実行(R)」をクリックします。
4. 名前の欄に“A:¥update¥update.vbs ” と入力し、OK ボタンをクリックします。
注) A はフロッピーディスクドライブのドライブ文字になります。
5. 「Do you update N8103-78/78F Windows Driver?」と表示されますので、「はい」をクリックしてください。
6. ドライバのアップデートが実行されます。「Update is finished. Restart this system.」と表示されましたらシステムを再起動してください。

以上でドライバのアップデートは完了です。

第4章 Promise Array Managementのインストール

本章では、Promise Array Management のインストール手順について説明します。

N8103-78ディスクアレイコントローラを制御するためにはPromise Array Managementのインストールが必要です。3.103 -N以前のEXPRESSBUILDERが本体装置に添付されていた場合、以下の手順に従いインストールを実施してください。

注) には、任意のアルファベットが入ります。

インストールに使用するCD-ROM 媒体には次の名称が印刷されています。

「N8103-78/78F Disk array controller (SATA) Management software」

Promise Array Managementは、上記CD-ROM媒体の「¥PAM¥SETUP.EXE」を起動してインストールします。インストール後、システムの再起動を行うダイアログが表示されますので、再起動してください。

さらに、再起動後に電源制御抑止ドライバをインストールする必要があります。上記CD-ROM媒体の「¥PAM¥ACPIDRV¥PAM_INST.BAT」を起動すると、電源抑止ドライバがインストールされます。

Promise Array Managementと電源制御抑止ドライバの詳細な作業手順は、上記CD-ROM媒体の中の「Promise Array Management ユーザーズマニュアル」(ファイル名: ¥PAM_DOC¥JP¥PAM_UG.PDF)を参照してください。

第5章 ESMPRO/ServerAgentのインストールと設定変更

本章では、ESMPRO/ServerAgent の設定変更手順について説明します。

N8103-78 をご使用になる場合、本体装置の種類により ESMPRO/ServerAgent の設定変更を行う必要があります。
(本体装置の種類は EXPRESSBUILDER のバージョンにより判断してください)

EXPRESSBUILDER バージョン	ESMPRO/ServerAgent
3.098 -N以前 (注1)	1. 本体装置添付の ESMPRO/ServerAgent をインストールしてください 2. インストール後、N8103-78 対応の設定変更を行ってください 「5.1 ESMPRO/ServerAgent の設定変更」を参照
3.080b-N 3.099 -N以降 (注1)	本体装置添付の ESMPRO/ServerAgent をインストールしてください 本章の設定変更は必要ありません。

注1) には、任意のアルファベットが入ります。

ESMPRO/ServerAgent は、本体装置添付の EXPRESSBUILDER を使用して、マニュアルセットアップ、もしくはシームレスセットアップでインストールしてください。

マニュアルセットアップによる ESMPRO/ServerAgent のインストールについては、「ESMPRO/ServerAgent インストレーションガイド」を参照してください。



「ESMPRO/ServerAgent インストレーションガイド」は、PDF 形式にて提供しています。
EXPRESSBUILDER CD-ROM の「オンラインドキュメントライブラリ」に格納されています。

シームレスセットアップによる ESMPRO/ServerAgent のインストールについては、装置添付の「ユーザズガイド」を参照してください。

5.1 ESMPRO/ServerAgent の設定変更

設定変更を行う前に以下の点を確認してください。

- Express サーバに ESMPRO/ServerAgent Ver4.1 がインストールされていること
- 管理者権限を持つユーザ(Administrator)でログオンしていること

確認が完了したら、次の手順で設定変更を行ってください。

1. ESMPRO/ServerAgent のストレージ監視を行う " ESM Storage Service " を停止します。
 - a) [スタート]メニューから、[設定] [コントロールパネル] [管理ツール]を選択し、サービスを選択します。
 - b)表示されるサービスの一覧から、" ESM Storage Service " を選択し、[操作]メニューで[停止]を選択してサービスを停止してください。
2. 本製品添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[スタート]メニューで[ファイル名を指定して実行(R)]を選択してください。[ファイル名を指定して実行]ダイアログが開いたら、[名前(Q)]に次のように入力して、[OK]ボタンを押してください (説明では CD-ROM が D ドライブであると仮定して説明します)。

D:¥ESMSAREG¥strgreg

3. ESMPRO/ServerAgent のストレージ監視を行う " ESM Storage Service " を開始します。
 - a) [スタート]メニューから、[設定] [コントロールパネル] [管理ツール]を選択し、サービスを選択します。
 - b)表示されるサービスの一覧から、" ESM Storage Service " を選択し、[操作]メニューで[開始]を選択してサービスを開始してください。